

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	メイキング基礎実習 I			授業のねらい 靴、鞆の基本的な構造と制作技法を習得していく。また、靴、鞆にまつわる歴史的知識の学習や、靴、鞆を構成する革素材についての学習を行う。
担当教員	紀井、永尾、櫻井、安井、佐藤			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	624時間	単位数	19単位	到達目標
開講期間	2023.4.1～2024.3			靴、鞆の基本となるスタイルのパターンから縫製、アイテム完成までの一連の制作技法を学び、学生が自らの手で基本スタイルの作品を制作することができることを目標とする。
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝紀井(シューズ企画開発)、櫻井(バック製造・修理)			
授業の計画展開	メイキング基礎実習 I-1(靴、鞆の構造と基礎知識)			
	内容	靴の構造と基礎知識を学ぶ 靴の分解とレポートの提出		
	メイキング基礎実習 I-2(ダービーシューズ制作)			
	内容	紳士靴の構造、制作方法を学ぶ ミシン、漉き機の使用方法を学ぶ 足の計測・作業を学ぶ		
	メイキング基礎実習 I-3(メンズ基本パターン)			
	内容	木型からフォーム～原型制作技術の習得 ダービーシューズパターン習得		
	メイキング基礎実習 I-4(レディースパンプス制作)			
	内容	婦人靴の構造を学ぶ 制作方法を学ぶ		
	メイキング基礎実習 I-5(スニーカー制作)			
	内容	スニーカーの底付けを学ぶ ウェッジソールの加工方法を学ぶ EVAの加工技術の習得		
	メイキング基礎実習 I-6(メンズ基本パターン)			
内容	オックスフォードパターン習得			
メイキング基礎実習 I-7(オックスフォードシューズ制作)				
内容	革素材について学ぶ 自分のサイズの木型で制作する			
メイキング基礎実習 I-8(トートバッグ制作)				
内容	パターン基礎練習・ミシンの取り扱いについて・ミシンによる縫製練習 規定サイズのポーチ作成・通しマチパターン制作技術の習得			
メイキング基礎実習 I-9(ドラムバッグ制作)				
内容	横マチパターン制作技術の習得			
メイキング基礎実習 I-10(ボストンバッグ制作)				
内容	ミシン縫製による革の丸手ハンドル制作・通し身頃パターン制作技術の習得・内装落とし込み技法の習得 玉付け/玉まとめ技法の習得・革漉き技術を学ぶ			
メイキング基礎実習 I-11(革のトートバッグ制作)				
内容	革バッグ外縫い技術の習得 表面加工(切り替え)バリエーション・革漉き技術の習得			
履修上の注意事項	基本技法の習得のため、1つ1つの工程を丁寧にすることが大事である			
評価方法	1. 各実習における実制作した靴、鞆のクオリティによる評価 2. 各実習における制作技法をまとめたレポートの内容による評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	メイキング造形実習 I			授業のねらい 1年次に学ぶ制作技法を基に、基礎的なスタイルから各自のアレンジを加えオリジナルデザインの靴または鞆制作を行う。
担当教員	紀井、永尾、櫻井、安井、佐藤			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	144時間	単位数	4単位	到達目標 各デザインに合わせた適切な制作構造と技法を選び、オリジナルデザインの靴または鞆を完成させることを目標とする。
開講期間	2023.4.1～2024.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝紀井(シューズ企画開発)、櫻井(バック製造・修理)			
授業の計画展開	メイキング造形実習 I-1(オリジナルシューズまたはバッグ制作)			
	内容 1年間で学んだ制作技術を応用した、オリジナルシューズまたはバッグの制作			
履修上の注意事項	計画性を持ち、基本技法の復習を兼ねて制作することが大事である			
評価方法	課題提出物のクオリティによる評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	デザイン基礎実習 I			授業のねらい デザイン画描写における基本的な描写技術を学び、靴、鞆の形態認識や立体物の陰影表現方法を習得する。
担当教員	永尾、相田			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	128時間	単位数	4単位	到達目標 鉛筆での描写や、マーカーを使ったデザインスケッチ等、様々なツールを使ったデザイン画作成と線画仕様書作成ができるスキルを身につけることを目標とする。
開講期間	2023.4.1～2024.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝相田(バッグデザイナー)			
授業の計画展開	デザイン基礎実習 I-1(スケッチ演習) 内容 デザイン画の為のデッサン・スケッチ練習(靴箱、石膏足型、足) デザイン基礎実習 I-2(原寸図面基礎演習1) 内容 バッグ基礎知識・原寸図面の基礎表現・立体の平面表現・原寸ドリル デザイン基礎実習 I-3(デザイン画ドリル演習1) 内容 ドリルを使ったトレーニング、線画描写技術、マーカー描写技術の習得			
履修上の注意事項	物の立体感と素材感をよく観察することが大事である			
評価方法	各課題における提出物のクオリティによる評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	デザイン造形実習 I			授業のねらい インスピレーションからのデザイン展開について学び、オリジナルアイテムのデザイン展開について学ぶ。 PCグラフィックソフトを利用した平面上における作品のプレゼンテーション技法を習得する。
担当教員	永尾			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	96時間	単位数	3単位	到達目標 オリジナルデザインの靴または鞆のデザインを完成させることを目標とする。作品を撮影し、PCグラフィックソフトを用いて自身の作品を効果的に平面上にレイアウトする事を目標とする。またブック制作を通して自身のアイデアやコンセプトをプレゼンテーションできる事を目標とする。
開講期間	2023.4.1～2024.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	デザイン造形実習 I-1(オリジナルデザイン作成) 内容 クリエイターとしての興味をリサーチし、インスピレーションからのデザイン展開を学ぶ デザイン造形実習 I-2(コンセプトブック制作) 内容 1年次に制作した作品をまとめたコンセプトブックを制作する			
履修上の注意事項	作品撮影のポイントを押さえ、自身のコンセプトを効果的に平面上に表現する事が大事である。			
評価方法	課題提出物のクオリティによる評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	美術史・情報デザイン概論 I		授業のねらい 国内外の歴史やトレンドを学び、ものづくりをする上での発想や表現の基本となる知識を深める。	
担当教員	永尾			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	16時間	単位数	1単位	到達目標 講義において出題されたテーマについて自身の見解とその根拠をレポートにまとめる。
開講期間	2023.4.1～2024.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	美術史・情報デザイン概論 I (講義・レポート作成)			
	内容	国内外の歴史やトレンドからの発想、レポート作成口		
履修上の注意事項	講義において出題されたテーマに基づき、自身の見解とその根拠を順序立ててまとめる事が大事である。			
評価方法	講義を聴講し作成したレポートによる評価			
テキスト	なし			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	メイキング基礎実習 II			授業のねらい 1年次に習得した技術の応用として新しい技法のバリエーションを習得し、作品制作の幅を広げる。
担当教員	紀井、永尾、櫻井、安井、佐藤			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	400時間	単位数	12単位	到達目標 新たな制作技法と知識を学び、制作できる靴と鞆のスタイル数を増やし、様々なデザインに対応できる力を身につけることを目標とする。
開講期間	2023.4.1～2024.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝紀井(シューズ企画開発)、安井(シューズ企画デザイン)、櫻井(バック製造・修理)			
授業の計画展開	メイキング基礎実習 II-1(ブーツ制作)			
	内容	フィット・ルーズタイプのブーツパターンの習得、ファスナーの取り付けを学ぶ クリッピング技術習得、スタックドヒール制作		
	メイキング基礎実習 II-2(立体縫製によるポストンバック制作)			
	内容	ヌメ革素材の取り扱い方を学ぶ、立体縫製によるパターン技法を学ぶ、イセ込み技法を学ぶ		
履修上の注意事項	一年次の基礎技術をふまえ、応用技術に対して注意深く丁寧に作業を行う事が大事である			
評価方法	1. 各実習における実制作した靴のクオリティによる評価 2. 各実習における制作技法をまとめたレポートの内容による評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	メイキング造形実習 II		授業のねらい
担当教員	紀井、永尾、土屋		靴の基礎となる木型についての知識と木型制作におけるノウハウを知る。木型の形状とデザインの関係性、また木型の形状と足の関係性についても学習する。また1年次に習得した基本技術を応用し、オリジナルデザインの靴または鞆を制作する。生産工場の協力を得ることで商品としてのクオリティについて学ぶ。
対象学年	2年		
必修選択の別	必修		
授業時数	368時間	単位数	
開講期間	2023.4.1～2024.3		到達目標
授業形態	実習		デザインに応じた適切な木型の形状を選択・制作できる感覚を養うことを目標とする。また、足の計測方法を学び、足に合った木型の制作・修正を行うことを目標とする。また、テーマに対する目的・優位性・利便性を明確にし、コンセプト立案した上でのデザイン・制作を行う力を身につけることを目標とする。
備考	実務経験有＝紀井(シューズ企画開発)、土屋(靴職人)		
授業の計画展開	メイキング造形実習 II-1(イメージからの木型制作)		
	内容	デザインと木型と靴の関係を学ぶ 木型に合ったデザインを知る 木型の切削方法を学習する	
	メイキング造形実習 II-2(足の計測からの木型制作)		
	内容	足の計測からの木型制作 足と靴のフィッティングについて学ぶ	
	メイキング造形実習 II-3(バルカナイズスニーカー制作)		
内容	バルカナイズスニーカーのデザイン パターンからクロージングまでの制作 バルカナイズ製法の底付け体験		
メイキング造形実習 II-4(オリジナル作品制作)			
内容	テーマを基にリサーチを行いオリジナルの靴または鞆を制作する		
履修上の注意事項	デザイン展開や計測などのリサーチ内容をどのように木型や靴の形状に展開するのかをよく考察することが大事である		
評価方法	各実習における実制作した作品のクオリティによる評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します		
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト		
参考文献	なし		

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	デザイン基礎実習 II			授業のねらい インハウスデザイナーとして外部生産に向けた仕様書におけるルールや表現方法を学ぶ。
担当教員	紀井、日置			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	64時間	単位数	2単位	到達目標 デザイン立案から外部生産における発注までの流れを習得し、インハウスデザイナーとしてのデザインスキルを身につけることを目標とする。
開講期間	2023.4.1～2024.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有=日置(シューズデザイナー)			
授業の計画展開	デザイン基礎実習 II-1(デザイン仕様書作成)			
	内容 外部生産に向けた仕様書作成を学ぶ			
履修上の注意事項	外部発注において必要なルール、表現方法を理解し、実際の現場で通用する仕様書を作成することが大事である。			
評価方法	各実習における実制作した作品のクオリティによる評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	デザイン造形実習 II			授業のねらい 二年次に学ぶデザイン企画の知識と培ってきた描写技術を用いて、企業間におけるデザイン開発を体験し、企業に対する新規デザインの提案を行う。
担当教員	永尾、紀井			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	160時間	単位数	5単位	到達目標
開講期間	2023.4.1～2024.3			連携企業の理念やブランドコンセプトに沿ったデザイン展開を行い、商品企画力を身につけることを目標とする。
授業形態	実習			
備考	紀井(シューズ企画開発)			
授業の計画展開	デザイン造形実習 II-1(切削による造形演習)			
	内容	切削による造形を学ぶ		
	デザイン造形実習 II-2(ブーツパターン制作)			
	内容	ブーツパターンの設計を学ぶ		
	デザイン造形実習 II-3(バッグデザインコレクション作成)			
	内容	ポストミシンの仕様書について学ぶ		
	デザイン造形実習 II-4(商品開発体験実習)			
履修上の注意事項	内容			企業へ向けたデザイン提案
	デザイン造形実習 II-5(オリジナルデザイン作成)			
	内容	オリジナルブランドのプランニング		
評価方法	内容			デザイン造形実習 II-6(オリジナルデザイン作成)
	内容			
テキスト	グラフィックソフトを使用し、就職活動へ向けたポートフォリオを作成する			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	美術史・情報デザイン概論 II		授業のねらい 国内外の歴史やトレンドを学び、ものづくりをする上での発想や表現の基本となる知識を深める。	
担当教員	永尾			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	16時間	単位数	1単位	到達目標 講義において出題されたテーマについて自身の見解とその根拠をレポートにまとめる。
開講期間	2023.4.1～2024.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	美術史・情報デザイン概論 I (講義・レポート作成)			
	内容 国内外の歴史やトレンドからの発想、レポート作成口			
履修上の注意事項	講義において出題されたテーマに基づき、自身の見解とその根拠を順序立ててまとめる事が大事である。			
評価方法	講義を聴講し作成したレポートによる評価			
テキスト	なし			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	メイキング基礎実習Ⅲ			授業のねらい 2年間で習得した技術から一步高いレベルでの技術習得を目指す。制作するだけでなく、より良い履き心地や機能性を実現する為の制作方法を学ぶ。
担当教員	紀井、永尾、安井			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	96時間	単位数	3単位	到達目標 ボロネーゼ、ストローベルなど履き心地や使いやすさを意識した技術を学び、フォーマルシーンからスポーツシーン、カジュアルシーンに渡るまで、現代社会が求める形を自身の力で具現化し完成させることを目標とする。
開講期間	2022.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝紀井(シューズ企画開発)			
授業の計画展開	メイキング基礎実習Ⅲ-1(ランニングシューズアッパー制作)			
	内容	スポーツシューズの構造について学ぶ ストローベル製法の構造と特徴を知る		
	メイキング基礎実習Ⅲ-2(コンフォートシューズアッパー制作)			
	内容	ボロネーゼ製法の構造と特徴を知る 甲ゴムの使用について学ぶ		
授業の計画展開	メイキング基礎実習Ⅲ-3(エクストラパターン制作)			
	内容	様々な応用パターン展開力を養う		
履修上の注意事項	1年次からの基礎技術を押さえながら、応用技術に展開させていくことが大事である			
評価方法	各実習における実制作した靴のクオリティによる評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	メーキング造形実習Ⅲ			授業のねらい 企業や社会、業界が持つマーケットに対して、様々なアプローチからリサーチを行い、ターゲットやニーズに向けた新しいアイデアを発信提案する。自己の世界観とセンスを現代社会にリンクさせ、現代的で実践的な靴、鞆開発を行う。
担当教員	紀井、永尾、安井			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	800時間	単位数	24単位	到達目標
開講期間	2022.4.1～2022.3			課題に対し各自でテーマとコンセプトを立案し、リサーチ対象を深掘りし問題提起から解決案を導き出す。明確なコンセプトからデザイン展開し、2年間で学習してきた技術を用いて作品を完成させることを目標とする。
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝紀井(シューズ企画開発)、佐藤(シューズクリエーター)			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅲ-1(マーケティング、ブランディングリサーチから生まれる靴または鞆制作1)			
	内容	企業連携プログラム 企業の持つマーケットに対してリサーチから現代的で新たなアイデアを提案する		
	メーキング造形実習Ⅲ-2(マーケティング、ブランディングリサーチから生まれる靴または鞆制作2)			
	内容	企業連携プログラム 企業の持つマーケットに対して問題を見つけ体感を基にしたリサーチから解決アイデアを提案する		
卒業制作Ⅲ-3(卒業制作)				
	内容	各自でテーマを決め業界社会に新たな靴を提案する		
履修上の注意事項	各実習テーマにおけるリサーチ項目を明確にし、リサーチの深掘りをするのが大事である			
評価方法	1. 各実習における実制作した作品のクオリティによる評価 2. 各実習における作品のプレゼンテーション内容による評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	デザイン造形実習Ⅲ			授業のねらい ブランド企画からマーケットリサーチ、トレンドリサーチなど、業界におけるデザイナー／プランナー／クリエイターに必要なリサーチ業務、デザイン展開を学ぶ。
担当教員	紀井、永尾			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	96時間	単位数	3単位	到達目標 各学生が自身のブランド立案からデザイン画によるコレクション作成まで、インディペンデントデザイナーとしてのスキルを身につけることを目標とする。
開講期間	2022.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝紀井(シューズ企画開発)			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅲ-1(ブランディング演習1:マーケティングからブランディング)			
	内容 マーケティングを踏まえたオリジナルブランドの企画			
	デザイン造形実習Ⅲ-2(ブランディング演習2:プロダクトデザイン)			
	内容 オリジナルブランドの商品企画／デザイン			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅲ-3(ブランディング演習3:プロモーション)			
	内容 オリジナルブランドのプロモーション			
履修上の注意事項	ブランドやマーケットのリサーチにおいて、個人の世界観と市場で売られている商品の相違点をよく観察する事が大事である			
評価方法	各実習における制作した企画書や作品のクオリティによる評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 シュー&バッグメーカーコース

科目名	美術史・情報デザイン概論 III			授業のねらい 国内外の歴史やトレンドを学び、ものづくりをする上での発想や表現の基本となる知識を深める。
担当教員	永尾			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	16時間	単位数	1単位	到達目標 講義において出題されたテーマについて自身の見解とその根拠をレポートにまとめる。
開講期間	2022.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	美術史・情報デザイン概論 I (講義・レポート作成) 内容 国内外の歴史やトレンドからの発想、レポート作成口			
履修上の注意事項	講義において出題されたテーマに基づき、自身の見解とその根拠を順序立ててまとめる事が大事である。			
評価方法	講義を聴講し作成したレポートによる評価			
テキスト	なし			
参考文献	なし			